

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹後市立久美浜中学校

【取組内容⑤】「実践研究の内容と成果の波及・発信」

◆ 成果発表 ◆

11月16日(木)には、京丹後市立久美浜小学校を会場に、京丹後市教育委員会主催の「令和5年度 京丹後市保幼小中一貫教育授業研究会」が開催されました。当日は、一貫教育の趣旨に沿った発達段階ごとの研究授業が公開され、本校は3年生数学のICT機器を活用した「協働的な学び」をテーマとした授業を公開しました。

また、12月8日(金)には、京丹後市内や京都府内の研究会と共催で、「ICT・DX研究推進研修会」を開催しました。京都府全域から校種を越えて教員が参加したとともに、京都府教育委員会、京都府丹後教育局、京都府デジタル学習支援センター、京都府総合教育センターの全面協力により、講義や研究協議、指導助言など密度の濃い研修会となり、実に大きな学びの機会となりました。

本校では、今年度の実践研究において、単純なICT機器の活用について研究を進めるのではなく、新たな授業づくりの取組を大切にすることにより、学力向上に係る数多くの成果を得ることができました。



11/16の授業研究会では教育関係者に3年生数学の授業を公開

◆ 発信と新たな指標の設定 ◆

今回の研究をきっかけに、多くの研修会や研究授業を開催し、学校におけるデジタル改革やICT活用についての数々の試行や検証を重ね、本校における新たな学びを模索する好機になったとともに、近隣や広域での学びのネットワークを構築し互いに高め合うことができました。

これまでの研究の概要や成果は、本校のホームページに詳しく掲載することにより、さらなる成果の広がりを期待しています。

今後はさらに、「主体的・対話的で深い学び」と、より効果的・効率的な学校教育活動に資する研究開発を続けながら、明るい未来を担う子どもたちを育てていきます。



ICT・DX研究推進研修会(R5.12/8)の開催と、オンデマンド配信による成果波及



<https://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-jhs/cms/>